

毎日、弁当作ってくれてありがとう！
 残さず食べてるで！
 空になった弁当箱を見る顔、
 好きやわ！



10月は食品ロス削減月間です！！

料理の食べ残しや消費期限切れによる廃棄等の「食品ロス」は、**京都市では年間約6.1万トン、日本では年間約612万トンも発生しています。**

一方、発展途上国などの食糧不足に悩まされている人々に向けた世界の食糧援助量は年間約390万トン。

なんと、**世界各国が発展途上国などに援助している1.6倍もの食品ロスが国内だけで発生しています。**これは、国民一人一日当たり、お茶碗1杯分の食べものを捨てていることになります。



約68世帯3日分の燃やすごみから出た手つかず食品（平成30年度京都市調査）



京都市ごみ減量キャラクター
 ごみちゃん

料理や食材を作ってくれた人々のことを思い浮かべてみましょう。買い過ぎない、食べ残さないなど、少しの心掛けで食品ロスは減らすことができます。

ご家庭からの燃やすごみと
 業者収集ごみ

約35万トン（令和元年度）の内訳 [京都市]

